

## スイッチ用遅延タイマーの製作

### 1 相談内容

相談者は対象者を担当する訪問看護ステーションの作業療法士です。「対象者の病状が進行して声を出しにくく、呼出装置などのボタンが押しにくくなってきました。スイッチ遅延装置は誤作動防止のために必要なので、予備用にもう1台作ってほしい。」と相談がありました。そこで現機をお借りし、使用部品や接続を調査した上で製作することにしました。

### 2 対象者プロフィール

60代女性、身体障害者手帳1級、要介護5です。筋萎縮性側索硬化症(ALS)です。

### 3 対応

お借りした現機の蓋を開けて、内部の使用部品を確認しました。そこにはアナログタイマー(OMRON製H3Y-2)が使用されており、作動させるためにDC24V用電源アダプタがつけられるようになっていました。また対象者が押すジェリービンスイッチツイスト(パシフィックサプライ株)をつなぐ入力側3.5mmφメス端子と、呼出装置やブザーをつなぐ出力側3.5mmφオス端子が設けられていました。これらの情報を元に遅延タイマーを製作しました。

アナログタイマーの設定時間目盛りを0~5秒間の希望する設定時間に合わせて、接続したスイッチを押し続けると出力し、呼出装置やブザーを鳴らせるようにしました。



製作した遅延タイマー外観



設定時間目盛りの様子

### 4 結果

訪問看護ステーションの作業療法士より「対象者が手のひら全体でスイッチを押し、問題なく使用することができました。」と感想が寄せられました。

### 5 予算

6,400円程度